

—あまいだけが恋じゃない! 7つの恋の物語—

今回のテーマは「恋」! ただし、スパイスとして7つのテーマを加えました。
王道から古典、ホラーまで!? ちょっとかわった恋模様を楽しんでください。



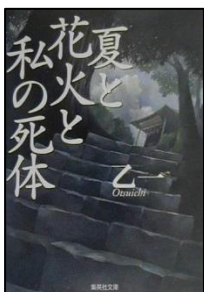
『君の臍臓をたべたい』
住野 よる／著 双葉社

せつない恋

—生きていくということ、死んでしまうということ—

僕はクラスメイト山内桜良が綴る日記「共病文庫」を拾い、桜良が臍臓の病気で余命を宣告されていると知る。僕は「彼女の死ぬまでにやりたいこと」に付き合うことになる。友達を必要としない僕、クラスの人気者の彼女。

真逆な二人が心を通わせながら成長していく。僕が彼女を必要としている今、彼女が僕を必要としてくれたことがわかった今…。二人の会話が楽しいからこそそのせつなさを感じる一冊です。(文責: 丘中学校司書)



『夏と花火と私の死体』
乙一／著 集英社

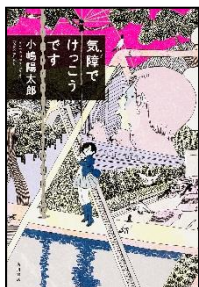
静かに心を浸食する恋

—この物語に潜む恋心に、あなたは気づくことができるだろうか…—

これは、ただただ誰かが誰かに恋をする甘い恋愛小説ではない。ジャンルを問われれば、ホラーだ。だが、この物語は「恋心」が鍵となっている。

語り部の「私」は友だちの兄に。友だちもまた、恋に似た感情を兄に抱いている。その兄は、近所に住む年上の女性に憧れと淡い恋心を…。

「私」の身に起こる事件と、時を同じくして起こる少年たちの行方不明事件。そこに隠された恋心に気づいたとき、あなたはすでに絡めとられたことを知るだろう…。(文責: 塩尻中学校司書)



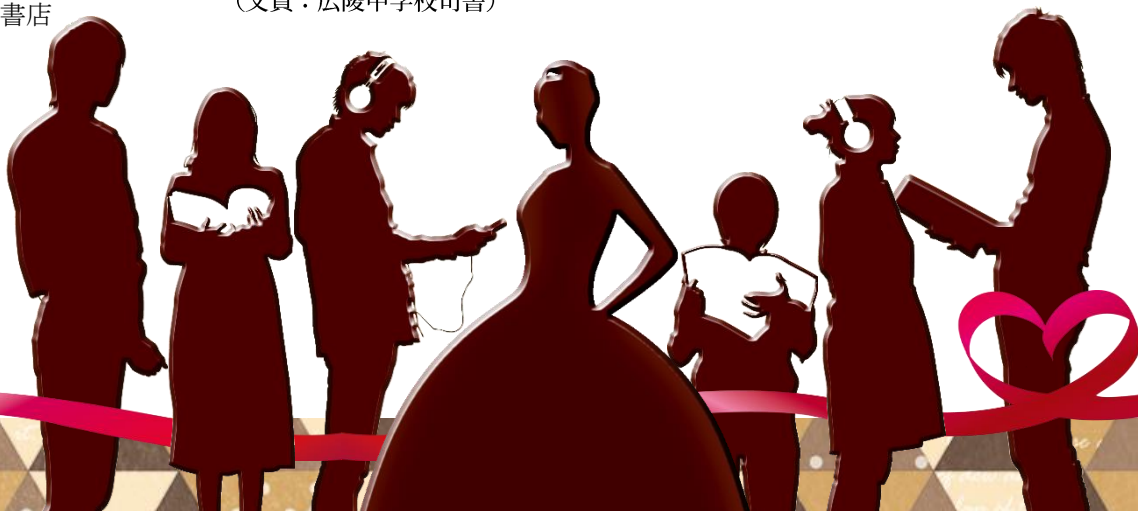
『気障でけっこうです』
小嶋 陽太郎／著
角川書店

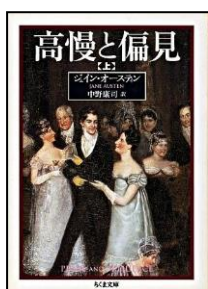
おかしい恋

—イマドキ女子高生に取り憑くサラリーマン幽霊。

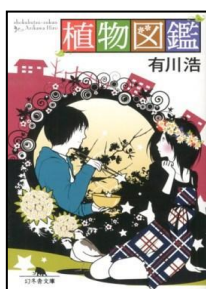
ふたりの摩訶不思議な関係は…

“公園におじさんが生えている”と思ったら、穴に落ちて身動きできない男性だった。彼を助けようと奔走するきよ子だが、途中、車にはねられ病院へ。意識が戻った彼女の前に現れたのは、なんと幽霊になったその男性。彼はなぜ幽霊になったのか。きよ子に取り憑く目的は? ふたりの漫才のようなやり取りに笑いながらも、話は予想外の展開に…。信州大学在学中に書いたデビュー作にして、ボイルドエッグズ新人賞史上最年少受賞作品。(文責: 広陵中学校司書)





『高慢と偏見』
ジェイン・オースティン／著
筑摩書房



『植物図鑑』
有川 浩／著 角川書店



『偽りの王子』
ジェニファー・A・ニールセン／著
ほるぷ出版



『金曜日の本屋さん』
名取 佐和子／著
角川春樹事務所

レトロな恋

—携帯小説なんて目じゃない!

ドキドキ、キュンキュンが止まらない—

舞台は18世紀～19世紀初頭。イギリスの片田舎で暮らす上流階級の人々のラブロマンス! 女ばかり5人姉妹のベネット家次女のエリザベスと、容姿端麗大資産家ダーシー。出会いは最悪。エリザベスは、ダーシーの「高慢」な態度に反感を抱く。しかし、本当の彼を知るうちに「偏見」を持っていたことを自覚する。二人の距離は急接近していった。

回りくどい語り口調がだんだん病み付きになってくる。古典作品にチャレンジしてみよう! (文責: 塩尻西部中学校司書)

おいしい恋

—図鑑!? いえいえ、これは恋愛小説です—

「自分で採ったものがその日のメシになるってちょっと狩りっぽくて面白いだろ」

ひょんなことから河野さやかが出会った青年は、樹木の樹と書いて「イツキ」といい、名前の通り植物に詳しく、まさに生きて歩く『植物図鑑』。そして、とっても料理上手。道端の草花もおいしい料理に変えてしまう。

野草の「ほろ苦さ」と、恋愛の「甘さ」がちょうどよくミックスされたような恋物語。読み終えた後はハッピーな気持ちになると同時にお腹がすいてしまうかも! ?

(文責: 植川中学校司書)

たたかう恋

—選ばれなければ殺される! 極限の戦いの中で出会った二人—

主人公のセージは無礼な態度と反抗的な性格だが、勇敢で気高く、賢い一面をあわせもつ少年。そんな彼は、ある日貴族の男・コナーに買われ、暮らしていた孤児院からコナーの屋敷に連れて行かれます。コナーの目的は、集めた少年たちを競わせ、死んだとされるジャロン王子に仕立て上げること。そして、カーシア国の王の座を奪うことでした。終盤の怒涛の展開に、ページをめくる手が止まらなくなるはず...?! 召し使いの少女・イモジェンとの淡い恋にも注目! (文責: 両小野中学校司書)

しあわせな恋

—1歩踏み出せる、世界が広がる、一緒なら—

どうしても見つけたい本がある僕、倉井史弥は「読みたい本が見つかる本屋」という噂のある本屋を訪れる。女性店長の南楨乃、「南楨乃なら見つけてくれる」その言葉を信じて探している本を相談するけれど…。

南店長の「特別に好きだ」という一言で、本に苦手意識があった主人公が長くて厚い小説も読めてしまう、恋っていいなと思える一冊です。

(文責: 塩尻市立図書館)

編集後記

それぞれ7つの恋はいかがだったでしょうか?

企画会議では盛り上がったのですが、全員が今までで一番本を選ぶのが大変な回でもありました。苦労の甲斐があってスパイスの効いた本が揃ったので、ぜひ楽しんでください。

(編集: 市立図書館)

